

第3回 代田の街づくり学習会 開催概要

【日時】 平成26年1月22日(水) 18時00分～20時00分

【会場】 世田谷区立代田小学校 1階図書室

【参加者】 11名

【次第】

1. 開会・主催者あいさつ
2. 「まちづくりの実際例を学ぶ」
(有)大戸まちづくり研究所 代表取締役 大戸徹氏
3. 質疑応答
4. 意見交換
5. 見学会・第4回のご案内
6. 閉会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 代田街づくり学習会 第3回 平成26年1月22日「まちづくりの実際例を学ぶ」
- ・ 「まちづくりの実際例を学ぶ」パワーポイント資料
- ・ 「代田の街づくり学習会」(平成26年1月25日)街づくり見学コース図

【議事】

1. 開会(18:00)

主催者あいさつ(北沢総合支所街づくり課長)

- ・ 本日で代田の街づくり学習会は、3回目になる。前は「防災街づくり」についていろいろと意見交換をしてきたが、本日は、「まちづくりの実際例」を話してもらうことになっている。
- ・ また、今週の1月25日(土)には、世田谷区の先進事例を視察する予定である。街づくりには、同じものがふたつとなく、それは地域の皆さんの思いが形になっているからこそだと思うが、これまでの街づくりの実績を実際に確認し、取り組んだ方の話を聴くことで、少しでも今後の街づくりに役立てていただければと考えている。

2. 「まちづくりの実際例を学ぶ」

(有)大戸まちづくり研究所 代表取締役 大戸徹氏

- ・ 「まちづくりの実際例を学ぶ」をテーマに、配布資料を使って講義を行った。
(配付資料:代田街づくり学習会 第3回 平成26年1月22日「まちづくりの実際例を学ぶ」、「まちづくりの実際例を学ぶ」パワーポイント資料 を参照)

3. 質疑応答

(質疑1) ご説明いただいたお話は、修復型街づくりであるが、それらはいつでもできることだと思っている。今、取り組まなくてはならないことを話し合いたい。例えば、世田谷代田駅周辺についての話をしなくては、間に合わなくなるのではないかと。駅が地下化したことで、こんなにも街の様子が変わってしまった。今一番大切なことは、駅周辺を活性化することではないかと思っている。

(大戸コンサルタント応答)

学習会4回のプログラムのなかで、本日はこのようなテーマで話している。この後の意見交換のなかで、それらの意見も出していただければと思う。

(質疑1) 本日は、駅前の話だけではなく、1～6丁目全域の街づくりの話が聴けるということだったので、参加させていただいた。地区計画をつくるまでの流れがよく理解できてよかった。構想からルールづくり、地区計画をつくるまでの流れはよくわかったが、そこに至るまでの期間はどの程度なのか。

(大戸コンサルタント応答)

まず、街づくり協議会を設立して計画をつくり、区へ提案するまでに2年程度かかることが多い。それを踏まえてさらに地区計画をつくるまでにさらに2年程度。それなりに長い時間がかかるが、それを急いでしまうと、最後の最後で住民に反発されることもある。住民と行政がキャッチボールしながらプロセスを大切に進めると、どうしてもその程度かか

ってしまう。

4. 意見交換

- 参加者は2つのグループに分かれ、実際に代田で街づくりを進める場合、どのように進めたいのか、課題も含めて意見交換を行った。
(意見交換のまとめは、以下のとおり)

グループA

<街づくりのあり方・進め方>

- 色々な意見を出し合って、良い街づくりを進めて行きたい。
- 代田地域は、1丁目と2丁目では交流がないなど、地域によって全然違っている。各町丁目単位で独自に街づくりを進めても良い。
- 行き止まりの路地、狭い道などは、子どもが遊んでいる場所もある。2・5丁目は住宅が密集して危険な所もあるが、良い街並みの所もある。防災街づくりだけでなく、おもしろみのある街並みなど良い点の活かした街づくりを進めるべきである。
- 代田地域の街づくりには、世田谷代田駅前の街づくりをしっかりと組み込んで話し合いを進めて行くべきである。
- 世田谷代田駅前の街づくりは急ぐべき課題、まずは駅周辺のテーマから進めるべきである。

<学習会の進め方>

- 学習会は、目的や流れをもっと明確にした方が良い。分かりにくい面があった。
- 学習会の参加者がもっと増えるよう、開催の時間帯などを工夫すべきである。
- 学習会は、意見を求めても参加者が少なすぎる。

<各地の具体的な問題点、課題など>

【代田2丁目】

- 代田2丁目は公園が少ない、図書館がない、など地域の公共サービスが欠けている。子育て世代の安全を考慮し、緑・公園など地域のニーズを考えて、人々が集えるものができるとう良い。

【世田谷代田駅周辺・環七沿道の商店街】

- 世田谷代田駅の駅前広場、ロータリーなどの整備がこれから進んでいく。その際、子どもの交通安全が気になる。
- 世田谷代田駅前広場の樹木については、桜と紅葉を1本ずつで良いので植えるべき。代田の名物になるだろう。
- 世田谷代田駅前には、富士山が遮るものなく見える貴重な場所(世田谷の宝)を、東京一の公共トイレをつくり、人々が訪れたいくなるような場所に。
- 世田谷代田駅前の商業施設の過疎化を何とかすべき。

【鎌倉通り】

- 小田急線の地下化で鎌倉通りの車の交通量が増えた。現在は、小田急線工事のガードマンが交通整理もしてくれて助かっているが、工事が終わると子どもの交通安全に不安がある。
- 鎌倉通りは歩道の確保が必要だ。(子どもが一人でも歩けるように)。

【宅地の細分化】

- 住宅地としての良い環境を守るためには、ミニ開発による宅地の細分化を止めることが必要だ。

【ブロック塀】

- 子どもが乗り越えられる高さにブロック塀を抑えるというのは、おもしろい考えと思う。

【公園・広場】

- 子育て世代としては、徒歩圏内に公園があると、使い勝手が良くてありがたい。
- ポケットパークをあちこちに整備する考え方は非常に良い考えであり、ありがたい。

グループB

<街づくりのあり方・進め方>

- ・街づくり協議会とは何か、基本を明確にしてほしい。
- ・今回、代田1・3・4・6丁目を実施している街づくりのアンケートは、結果でなくて、街づくりに向かうきっかけである。
- ・地域のコミュニティが薄れつつある。今回の呼びかけを話し合いのチャンスにしたい。
- ・全戸にニュース配付などをする。訴求力があるよい広報を配付する。
- ・町会・自治会、SAP、PTA(子育て世代の意見を反映)、三土代会などの意見も聞いて進める必要がある。
- ・商店街、若い店主の口コミは、効果的である。
- ・子どもたちに、まちづくりアイデアを聴いてみたい。 児童館とタイアップするなど。

<各地の具体的な問題点、課題など>

【代田1丁目】

- ・花見堂小学校は、地元の寄付でつくられたが、平成28年に統合予定である。
- ・小学校の跡地は、まちの中心となる地域の拠点(防災、子ども、公園)にしたい。代田1丁目の街のあり方、将来展望をまとめ、こういう街を目指すので、ぜひこの拠点が必要という声をまとめたい。

【代田3丁目】

- ・住みよい環境である。梅ヶ丘通りが狭いので電柱が気になる程度だ。

【代田4丁目】

- ・街づくりと世田谷羽根木公園のプレーパークの関係はどうなっているのか。

【代田5丁目】

- ・小田急線の踏切が無くなり、下北沢商店街への通り抜ける車の通行が増加している。(北沢土木公園管理事務所前の通り)特に明け方に、自販機の補充車やゴミ収集車などの通行が激しく増えている。

【代田6丁目】

- ・防災まちづくりを進めるべきだ。
- ・子ども、子育てのまちにしたい。小学校の統合を受けて、守山小学校の跡地は、代田の地域拠点施設として活用したい。
- ・都市計画道路(補助54号線)問題への取り組みも必要である。

【世田谷代田駅周辺・環七沿道の商店街】

- ・デザイン系等若い世代の店舗が増えた。
- ・若い人が起業して、ラーメン店だけでなく、木工、カフェなどの店が出店された。
- ・派手な店はないが、居心地のよさ・趣味の良さで売る、センスのよい店を増やしたい。
- ・センスを売りにしたこだわり系の店舗を育てたい。
「世田谷代田ものこと祭り」等の組織づくりの後押し
- ・富士山が見える風景を生かすべきだ。

5. 見学会・第4回のご案内

- ・今回の続きとして、1月25日(土)13:30から太子堂2・3丁目地区の見学会を予定している。太子堂2・3丁目地区は修復型まちづくりなので、画期的に見える効果はないが、どのように街づくりを進めてきたのかを、実際に協議会活動に長年取り組んでいる方と地区を一緒に歩きながら、ご説明をいただく予定である。街の特長は異なりますが、代田の街づくりの参考に大いになるはずです。
- ・また、第4回目を2月19日(水)18:00から代田小学校で「代田の街づくりの目標と進め方について」をテーマに実施する。最終回になるので、引き続きご参加願いたい。

6. 閉会(20:00)

以上